

利用状況に関する補足資料

1. 西大台地区の利用動態について

西大台地区の利用動態について概況を把握するため、ヒアリング調査結果およびカウンター調査結果を整理した。

(1) ヒアリング調査

1) 利用者ヒアリング

◇調査日：平成16年5月22日、23日

◇調査方法：西大台地区内に2名の調査員を配置し、通過する利用者に対するヒアリングを実施した。

◇調査結果：表1参照

- ・大部分が周回ルートを利用している。
- ・一部、ドライブウェイ（経ヶ峰、七つ池）からの出入りも確認される。
- ・山麓（木和田、筏場）からの利用者は少数である。

2) ツアー実施会社ヒアリング

◇対象期間：平成17年4月～11月

◇調査方法：西大台地区におけるツアー実施会社（5社、インターネットやチラシ等により把握）に対し、「ツアーの実施状況に関する記入用紙」の送付による協力依頼を実施した。

◇調査結果：2社から回答を得た（平成18年3月24日現在）。表2参照。

※他3社についても回答を得次第整理する。

表2 ツアー実施会社ヒアリング調査結果

	A社	B社
実施回数	28回（5月～11月）	8回（4月～11月）
参加人数	・最多：32人（10/17） ・最小：4人（5/21）	・最多：45人（5/3） ・最小：20人（8/6）
利用ルート	周回ルート（時計回り）	周回ルート（時計回り）
ガイド	各回2名（社内山岳専門スタッフ）	各回2～4名（社内山岳専門スタッフ、社外登山ガイド）

(2) カウンター調査

カウンター調査結果（平成16年11月、17年4月～11月）では、各カウンターにおける同方向のカウンタ数に増減が確認されている（多い時で50人以上）。

この増減は、主にドライブウェイからの利用者の出入りを示すものと考えられる。

表2 西大台利用者ヒアリング調査結果(平成16年5月22日、23日)

No.	グループ構成		居住地*1	アクセス手段*1	来訪経験*1			スケジュール		来訪目的	
	構成	人数			西大台	東大台*3	大杉谷	日帰・宿泊	登山等工程	きっかけ	目的等*2
1	友人(男のみ)	3人	京都府京都市	自家用車	初	何度も	何度も	日帰り	西1周+東1周	東大台は何度も来訪して非常によかったため	登山
2	団体(全92名グループを東・西の2班に分かれて入山)	55人	奈良県北葛城郡	貸切バス2台	3回目(グループとしては初)	-	-	日帰り	西1周	会員の希望(アンケート)	ハイキング、原生的自然、ブナ林、新緑
3	男性単独	1人	和歌山県海草郡	自家用車	2回目	-	-	日帰り	西1周	以前来て良かったため	写真、動植物、新緑、特に鳥を見に来た
4	男性単独	1人	奈良県橿原市	乗合バス	初	-	-	日帰り	西1周+東1周	-	鳥を見に来た、また東のシャクナゲ
5	友人(男のみ)	2人	大阪府大阪市	自家用車	2回目(もう一人は初)	1回(もう一人は2~3)	-	日帰り	西1周(展望台まで)	-	ハイキング、写真、新緑
6	家族	2人	奈良県奈良市	自家用車	初	1回	0回	日帰り	ナゴヤ谷往復(ナゴヤ谷で昼食)	晴れているのを見て急に来ることになった	新緑、休日
7	男性単独	1人	奈良県生駒市	乗合バス	2回目	3~4回	2回	宿泊(大台荘)	5/22 西1周 5/23 東1周	東大台、大杉谷は何度も来訪しているが、西は長く来訪していないため	登山、写真、動植物、原生的自然、新緑
8	友人(男のみ)	2人	和歌山県和歌山市	自家用車	初	何度も	何度も	日帰り	東1周+西1周(展望台まで)→小知温泉	東大台や大杉谷は何度も行っているため	東のシャクナゲ、西の自然、小知温泉、原生的自然、展望台、休日
9	職場のOB会	11人	大阪府大阪市	乗合バス	初(グループとしても初)	-	-	日帰り	西1周	初めてだから	原生的自然、新緑
10	友人(男女)	6人	兵庫県伊丹市	自家用車	初	5回以上	何回か	宿泊(大台荘)	5/22 東1周 5/23 西1周	東大台、大杉谷は何度も歩いたが、西は初めてだから	ブナ林、新緑
11	男性単独(カメラマン)	1人	大阪府大阪市	自家用車	年に20回ほど	-	-	日帰り	七ツ池近くから入山→間拓あたりまでを散策	東より人が少ないため、駐車場あたりの混雑が嫌い	写真
12	男性単独	1人	大阪府墨江寺市	自家用車	年に4~5回	年に4~5回	-	日帰り	西1周+東1周	以前来て良かったため	東のシャクナゲ
13	友人(男のみ)(カメラマン)	2人	奈良県生駒郡	自家用車	初	数回	-	日帰り	西1周	人の評判を聞いて	原生的自然、新緑、写真
14	夫婦(カメラマン)	2人	奈良県大和郡	自家用車	初	年に数回	-	日帰り	経ヶ峰から入山→間拓分岐あたりまでを散策	東はしばしば来訪、西は初めてだから	写真
15	友人(男女)	6人	三重県松阪市	自家用車	3回目	-	-	日帰り	西1周	以前来て良かったため	新緑
16	友人(男女)	3人	大阪府堺市	自家用車	何度も	-	-	日帰り	駐車場→時計回り→経ヶ峰(登りは抜けるので経ヶ峰と駐車場に車を1台ずつ駐車)	-	ハイキング、写真、原生的自然、ブナ林
17	男性単独(カメラマン)	1人	大阪府	乗合バス	年に20、30回	-	-	日帰り	西1周	-	写真、自然、ブナ林
18	男性単独(最近登山を始めた)	1人	大阪府	自家用車	初	0回	0回	-	夜場⇒西大台半時計回り	夜場から上がってくる途中で人に勧められた	-
19	夫婦	2人	岡山県津田郡	自家用車	年10回以上を10年以上	-	-	日帰り	七ツ池→ナゴヤ谷→駐車場→七ツ池	-	植物、野鳥
20	夫婦	2人	京都府	自家用車	初	3回	-	日帰り	西1周	-	-
21	友人(男女)	4人	大阪府	自家用車	初	年1回程	-	日帰り	駐車場⇄七ツ池周辺	-	ハイキング、写真
22	友人(男のみ)	2人	東京都日野市	タクシー(東京から出発で来たが、乗合バスに間に合わないため)	初	0回	0回	-	駐車場⇄経ヶ峰分岐周辺	大台ヶ原の写真集をみて	写真
23	男性単独	1人	和歌山県	自家用車	2回目	10回	-	日帰り	西1周	-	写真、ブナ林

*1 ヒアリング対象とした代表者についての回答。その他はグループ

*2 来訪動機のうち目的等は、利用の目的(登山、ハイキング、写真撮影、等)や西大台を選んだ理由(原生的自然を体験できる、ブナ林の新緑が美しい、等)についてキーワードを示した。

*3 東大台、大杉谷の来訪経験は当初ヒアリング計画では想定していなかったが、現場で聞くことができたものについては参考に示した。

2. 月別の利用者数の変動について（第1回協議会資料の修正）

第1回協議会（2月26日）における資料3-4の図2「月別平均入山者数」について、以下のとおり表現方法を修正する（計器トラブルによるデータの欠損を反映）。

○月別の利用者数変動

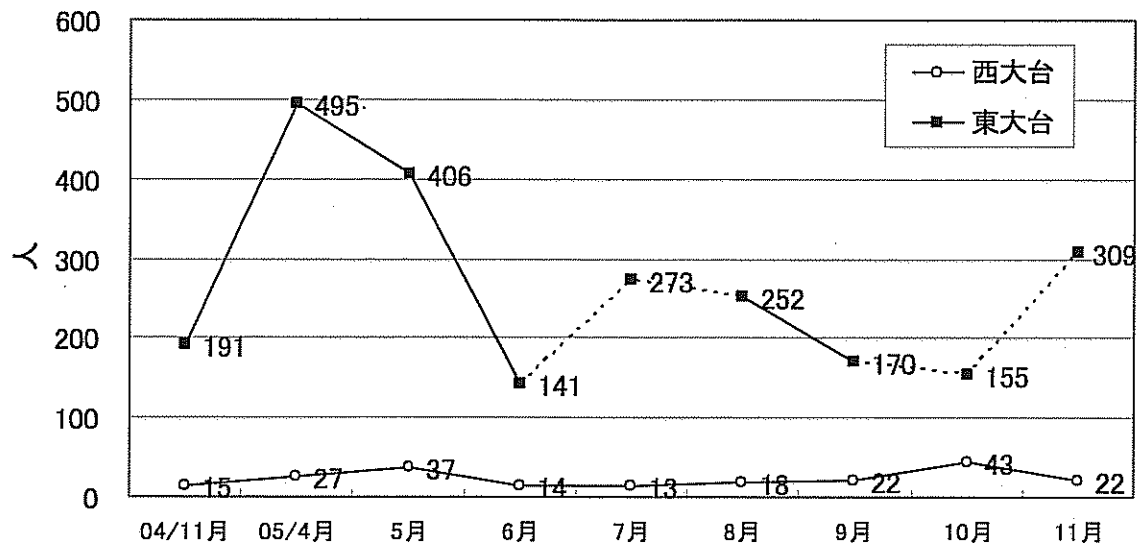


図1 月別平均入山カウント数

注) 東大台では、データ欠損のあった7月2日～14日（13日間）、10月8～30日（23日間）の期間を除いた値で平均値を算出しているため、点線で示している。